

# TRIZ をマインド分野に応用した実践的アプローチ ～ TRIZ マインド研修の確立に向けて ～

山畳 秀人(ドコモ・システムズ株式会社)

花岡 幸枝(株式会社ウィズダム)

## 概要

企業における社員教育、個人の悩み事解決などのマインド分野において、問題解決思考を強化するための各種ツールを比較選定した結果、創造的思考を補助する TRIZ 技法が有用であることがわかってきた。TRIZ 技法に従い心理矛盾を明確にし、心理変化の予測を行い、固定観念にとらわれない創造的理想解へのアプローチに、40 の発明原理を応用してみた。TRIZ の従来技法だけではマインド分野への応用が困難な部分があり、マインド分野で使われてきたツールとの融合、最適化を行った結果、「TRIZ マインド研修」という新たな分野を確立することができるようになった。

## 1. 背景

企業における社員教育では、知識習得型研修が主であったが、ヒューマンエラーの解決のために、人間心理を考慮した問題解決型研修が求められるようになってきた。人間心理を洞察する際に、固定観念にとらわれたマニュアル型思考になってしまう部分を、創造的思考に切り替えるためのツールとして、TRIZ に着目することとした。

また、企業では解決しにくい、個人のプライベート面での悩み事解決にも、心理矛盾を解決するためのセルフカウンセリングツールとして、TRIZ の応用を試みることにした。

## 2. マインド分野へ TRIZ を

マインド分野に TRIZ を応用するポイントとして、次の点を検討してみた。

- 技術矛盾の整理方法で心理矛盾を定義
- 40 の発明原理を人間心理の問題解決に適用
- 9 画面法による理想解のイメージ化
- 進化トレンドによる心理変化の把握
- TRIZ を適用する部分と適用できない部分の明確化

技術分野での矛盾解決マトリックスは、そのままでは人間心理面で使えないため、技術用語を一般用語に変換しながら、手法の適用を目指してみた。いくつかの部分で応用可能な所もあるが、心理問題をカバーするためには、さらなる分類整理を要する。矛盾解決のために 40 の発明原理を活用することも試みた。人間心理面の問題解決に適用するためには、技術に特化した用語を人間心理面で応用しやすい用語に変換する必要があった。9 画面法で人間心理を洞察し、問題解決の方向性を得られるか

試みてみた。時間軸、心理変化、対人関係といった様々な切り口で分類することで、応用可能であることがわかった。技術面の進化トレンドと同様に、人間心理にも変化のトレンドがあることも、各種心理学を整理していくことで見えてくる部分はあるが、この部分はさらなる研究が必要である。

## 3. TRIZ マインド研修の実践

企業内の社員教育にて、ヒューマンエラーを引き起こす人間心理の矛盾解決を、独自の思考フレームワークだけで行った場合と、発明原理に基づく思考キーワードを併用した場合で、比較検証してみた。

思考フレームワークだけでは、マニュアル的な解決策しか出てこないが、発明原理のキーワードを用いることで、新たな発想を得ることができた。また、グループワーク形式で実践することで、他人の考えを共有したり、社員同士の親睦を深めるきっかけにもなった。

## 4. セルフカウンセリングツールとしての期待

企業では関与しにくい、個人のプライベート問題についても、思考フレームワークに従ったキーワードからの発想法を指導するだけで、ある程度、自力での問題解決につなげることはできた。感情面での問題には、発明原理的キーワードだけでは効果が出ないこともわかり、感情面を左右する視覚効果、音響効果、体感動作などを併用しながら、さらなる実践を試みたいと思う。